

令和4年度 さいたま市立道祖土小学校
第2回学校運営協議会 議事録

【日 時】令和4年11月25日（金） 13時20分～15時00分

【場 所】道祖土小学校 3階 低学年図書室

【議事録】

○開会

○運営協議会委員長あいさつ

○校長あいさつ

○令和4年度学校自己評価システムシートについて（校長より説明）

- ・学力向上に関する取組について
- ・安心・安全に関する取組について
- ・開かれた学校づくりに関する取組について
- ・教職員の資質向上に関する取組について

○熟議「地域でどのような子どもを育てていくのか」

各委員それぞれの立場で実践されていること等

育成会

- ・コロナ前は「3世代ふれあい広場」として教室で工作を教えていたが、昨年度から形を変えて復活させた。同じように復活したものとして、七夕飾りやラジオ体操、どれみふぁさいどコンサートなどがある。

自治会

- ・自治会の行事として「さいどふれあいまつり」を開いた。おもちゃ販売や防災訓練を行ったが、かなり盛況だった。

公民館

- ・子ども公民館という行事や陶芸教室やもちつきを行った。日本の教育については、西欧と比べると日本人は、マナーは良いのだが主張する力に欠けるように思う。

保育園

- ・コロナ禍での活動ということで、家族一緒に活動する機会が減ってしまった。また、マスクが常態化して、相手が誰なのかわかりにくいし、表情も読めない中で、大人も子どもも相手に不信感を持っているように感じる。そのような状況にあって、「ふるさと意識」を高めるのは容易ではないと感じている。

チャレンジスクール

- ・チャレンジスクールではルールを守れない児童もいるが、しっかり指導するということまではいけていない。また、放課後チャレンジスクールは、学童保育の一面もあり、飽きてトラブルにつながったりしないよう注意している。

中学校

- ・児童生徒の活動の目的意識をしっかり持ち、その目的が根付くためには何をどう進めるかを考えるようにしていく。学習に関して言えば、学校は基礎・基本を確実に身に付けるという目的があるので、その目的に合った手段を選んでいく。

P T A

- ・さいどっ子まつりを、形をかえつつ行った。まずは学校を好きになることがスタートであると考え、子どもにとって楽しみのある活動を行っていく。

学校地域連携コーディネーター

- ・学校地域連携コーディネーターの立場からご挨拶させていただきます。おかげさまで、チャレンジスクールの講師が増えた。市内でも珍しいことである。皆様のご理解・ご協力のおかげです。

○いじめ防止について（教務主任より説明）

○本校6年生SDGs学習についての紹介（教務主任より説明）

- ・大牧小とのオンラインによる合同授業（動画視聴）

○学校評価の集計結果について（教頭より説明）

○閉会